

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	西部県民センター 益田事務所	氏名	岡 真利
派遣先 団体名	息域スペース ポコ・ア・ポコ		
<p>① 研修の日時 平成23年9月14日、15日、20日、21日、22日 午前9時から午後4時まで</p> <p>② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。) 作業活動:自主製品作り 午前午後とも約2時間ずつ ・「みずすまし」三角コーナー用の袋 裁断作業 ・「吸油玉」食用油を吸い取るもの 裁断や縛る作業 ・「カーテンたわし」カーテン生地で作った食器用たわし 縫う作業</p> <p>文化活動 ・音楽療法 21日午後1時30から3時まで ボランティアの三浦文史枝さんに絵本を読んでいただき、童謡を一緒に歌いました。 ・調理実習 22日午前10時から午後1時まで 益田市食生活改善推進協議会の方と洋風おから、和風スープ、キャベツとひじきの酢のものを2班に分かれて作り、おいしくいただきました。 ・代表の小川さんよりポコ・ア・ポコの活動経過等の説明を受けました。</p>			
<p>③ 研修の感想</p> <p>5日間という短い期間ではありましたが1日1日を過ごすうちにポコ・ア・ポコの持つ温かい雰囲気、居場所にとっても癒されました。ここはその名のとおり「息域(いきいき)スペース ポコ・ア・ポコ」ゆったりと息のできる居場所作りを一番の目的としているため完全な作業所とは異なり、横になって休んでいても話をしてもよく、時間にも縛られることなく好きな時間に来て好きな時間に帰る事もできる、とても自由な場所でした。他の作業所へ通いながら仕事が休みの日に利用するという人もありました。ボランティアの方など色々な人の出入りがあり、いつも笑い声がたえない明るい雰囲気に包まれており、利用者にとって、ここは間違いなく「なくてはならない心の休まる癒しの場所」であると感じました。</p> <p>今回の研修を通して行政に求められる事を考えるとやはり資金の事が気になりました。平成21年から益田市地域活動支援事業を受託し、スタッフも1名増員され、なんとかやりくりされている状態ですが、それでも代表の小川さんを含めてスタッフ2名との3名では大変苦勞されているのではないかと思います。逆に益田市からの委託料がなかった平成21年以前はどうやって活動をおこなわれていたのかと思うだけで頭が下がる思いがしました。賛助会員は150名あまりおられるようですがなかなか継続が難しいようで実際はもっと少ないとの話でした。書面などで賛助会員を募集して仮に会員になって下さる方があってもなかなか続きにくいのだそうです。やはり、実際にかかわる事で利用者さんの顔が浮かぶ事は毎年の更新(継続)に繋がるのではとの話には妙に納得してしまいました。ここでの活動を一人でも多くの方に知ってもらい、協力していただけるように紹介</p>			

していきたいと思います。

また、県職員として地域で行われている作業所のイベントなどに関心を持ち、積極的に参加していきたいです。まずは自分にできる小さなことから始め、この研修でいただいた縁を大切にしながら活動の輪を広げていけたらいいなと思いました。

そして、県主催のイベントの案内やいち県民として地元のイベントの情報提供なども地域とつながりを持つ意味ではとても大切な事だと感じました。

ポコ・ア・ポコが目指すものとして「障がいのある人もない人も同じ地域の中で一人の人間として生きていくことが当たり前の社会、そうした社会をつくっていくひとつの場になれば」との思いを実際に感じる事ができ、大変有意義な研修でした。

④ その他特記事項

(注1) 研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2) 研修期間(7月～3月)中、報告会を開催します。